

令和3年度美馬市防災会議 議事概要

開催日時	令和4年3月23日(水)	13時55分から15時30分まで
開催場所	穴吹農村環境改善センター	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 委員紹介 4. 説明事項 令和2年度防災会議において各委員から頂いた意見等に対する措置状況等 5. 審議事項 (1) 美馬市地域防災計画及び美馬市水防計画の改定に向けた業務予定について (2) 美馬市地域防災計画改定案について (3) 美馬市水防計画改定案について 6. 連絡事項 令和4年度美馬市危機事態対処訓練実施予定 7. 閉 会 	
出席委員	委員34人中 (本人出席：23人、代理出席：6人、欠席5人)	
事務局	危機管理課長 尾形克人 防災対策監 中山博之 課長補佐 安達貴志、藤原由美子	
開会	(事務局) 進行 尾形危機管理課長	
挨拶	<p>(市長)</p> <p>本日は、年度末で大変ご多忙のところ、「令和3年度美馬市防災会議」にご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃から市政各般にわたり、ご指導、ご支援を賜っておりますことに改めてお礼申し上げます。</p> <p>さて、近年は豪雨災害が頻発化しており、先日も、福島県沖で「マグニチュード7.4」の地震が発生し、一部の地域では、「震度6強」を観測するなど、改めて、自然災害への備えを一段と高め、防災・減災対策を進めていかなければならないと考えております。</p> <p>本市におきましては、市役所駐車場の防災活動拠点としての整備や、全職員の防災士資格取得など「公助」機能の強化に取り組むとともに、分散避難に対応した「備蓄物資等購入支援事業」を実施し、家庭での備蓄をすすめていただいたほか、各小学校区で順次「避難所検証訓練」を実施するなど、「自助・共助」の強化に向けても対策を進めているところでございます。</p>	

	<p>しかしながら、いざ大規模災害が発生いたしますと、本市の対応だけでなく、本日お集まりをいただいた関係機関との連携強化が不可欠であることから、関係機関との連携等を反映した、地域防災計画及び水防計画の改定案について、本日、お示しをさせていただきます。</p> <p>今回の改定は、県の「地域防災計画」や「水防計画」、また、関係法令との整合を図るとともに、本市と関係機関の役割についても、最新の状況を反映するものであります。</p> <p>委員の皆さま方におかれましては、それぞれのお立場から、忌憚のない御意見を賜りたいと存じますので、よろしくお願ひ申しあげ、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員紹介	<p>(事務局)</p> <p>出席委員を順次紹介</p>
説明事項 令和2年度防災会議において各員からいただいた意見等に対する措置状況	<p>(事務局)</p> <p>中山防災対策監より「令和2年度防災会議において各委員から頂いた意見等に対する措置状況」の概要について説明。</p> <p>(市長)</p> <p>(不明な点、質問はないかを確認)</p> <p>質問がないようですので、日程5. 審議事項に進みます。</p>
審議事項 (1)美馬市地域防災計画及び美馬市水防計画の改定に向けた業務予定について	<p>(事務局)</p> <p>中山防災対策監より「美馬市地域防災計画及び美馬市水防計画の改定に向けた業務予定」について説明。</p> <p>(市長)</p> <p>(不明な点、質問はないかを確認)</p> <p>それでは、審議事項1「美馬市地域防災計画及び美馬市水防計画の改定に向けた業務予定」について、ご承認いただくことに御異議ございませんでしょうか。</p> <p>(委員より異議なしの声)</p> <p>業務予定については、承認されました。</p>

(2)美馬市
地域防災
計画改定
案につい
て

(事務局)

中山防災対策監より「美馬市地域防災計画改定案」の概要について説明

(市長)

(不明な点、質問はないかを確認)

それでは、徳島地方気象台における地震及び風水害対策の観点から「半場様」何か御意見、ご質問はございませんか。

(徳島地方気象台 次長 半場 康哲 氏)

気象台からは、美馬市地域防災計画改定案の中で、地震の関連部分について、意見を抽出しています。内容には技術的な部分が含まれており、書面で記述したものを持参しているため、担当者にお渡しし、検討していただきたいと思います。

また、水防計画の改定案については、気象台から意見はありませんが、近年、雨の降り方が変わってきています。雨の降る回数は少なくなる一方で、雨の降る量は非常に多くなっています。

特別警報は、2013年から運用が開始されていますが、運用開始から昨年までで、特別警報が出されなかった年はなく、毎年どこかで特別警報が発表されている状況です。昨年には、牟岐町、海陽町で線状降水帯が発生し、顕著な大雨に関する情報を発表しました。これは警戒レベル4以上の時に出されるもので、特別警報一歩手前といえる状況が徳島県内でも発生しているということになります。

地域防災計画に明記されております「キキクル」だけでなく、気象庁が発表する防災情報をうまく活用し、防災対応に当たっていただきたいと思います。

(市長)その他の委員さんから何かございますか。

(徳島県西部総合県民局保健福祉環境部 山下 氏)

地域防災計画の中に、誤記があるため、後ほど担当者にお知らせいたします。

63 ページに災害廃棄物処理の3原則があり、1安全の部分にアスベスト関連の記載がありますが、徳島県が災害時の建築物のアスベスト対策として、「被災建築物解体マニュアル」として簡易なマニュアルを作成しています。徳島県のホームページからも入手できるため、ぜひ御活用を御願います。

87 ページに危険物等事故の項目にも、徳島県で「毒物・劇物に係る災害時の対応マニュアル」を作成しており、県ホームページより入手できるため、ぜひ御活用頂きたいと考えています。

(市長) 事務局から回答を御願います。

(事務局)

1点目の誤字については、後ほど御確認させていただきます。

63ページ及び87ページにつきましては、計画に反映できる部分は反映させていきたいと考えております。

(市長) 山下様よろしいでしょうか。

続きまして、徳島県における地震対策・風水害対策の観点から、西部総合県民局地域創生観光部長「安西様」何かご意見、ご質問はございませんか。

(西部総合県民局 地域創生観光部長 安西 弘詞 氏)

美馬市災害対策本部運営訓練や、地域の自主防災組織が中心となった避難所での実践的な訓練を実施されています。ぜひ継続していただきたいと思います。

災害の発生を完全に防ぐことは不可能でございますので、人命救助を始めとする応急対策や早期の復旧・復興などを通じて、被害を最小化することが重要であります。

災害情報の収集・伝達が重要であるため、通常の通信網に加えまして、デジタル簡易無線や衛星携帯電話を全ての職員が活用できますよう、訓練や研修を重ねて頂きたいと思います。

地震や土砂災害、雪害にともなう孤立集落の発生など、西部圏域には備えるべき課題が多数あります。こうした課題に備えて、地域防災力を強化するためにも、関係機関が相互に連携し、災害に備えることが重要であります。県民局としても、より一層の連携強化を図っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(市長) ただいまの意見に対しまして、事務局から何かございますか。

(事務局) 市といたしましても、平素から徳島県や西部総合県民局と連携し、訓練も実施していければと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(市長)

続きまして、美馬市自主防災組織連絡協議会会長「三宅様」何かご意見、ご質問はございませんか。

(美馬市自主防災組織連絡協議会会長 三宅 孝夫 氏)

昨年、意見を申し上げましたことに関しまして、細かく記述をしていただきましてありがとうございます。自助7割、共助2割、公助1割と言われていますが、自助、自分の命は自分で守るということを理解している人は増えてきたと思います。

しかし、具体的に何をしなければいけないかということを理解することが難しいところです。自助のために、具体的にどのような行動を起こせばいいか、自分の家で何をしなければいけないかなどチェックシートのようなものを作成していただいて、各戸に配付してもらえたらありがたいと思います。

(市長) ただいま御意見いただきましたチェックシートの取組について、事務局から何かございますか。

(事務局) 内容の一部につきましては、美馬市の防災の手引きを全面改定しております。一部は新しい手引きに記載しておりますが、地域防災計画に取り込めるものは、取り込んで作成したいと思います。

(市長) いただいた御意見を反映させていきたいと思います。

それでは、自衛隊における災害対策などについて、第15即応機動連隊火力支援中隊長「長岡様」何かご意見、ご質問はございませんか。

(陸上自衛隊第15即応機動連隊火力支援中隊長 長岡 賢 氏)

災害用ドローンについて発言いたします。自衛隊も災害用ドローンを活用して、捜索を実施しております。市が整備し、情報収集に御活用されるということは、非常に好ましく思いますが、自衛隊と市が所有しているドローンの能力は違いがあるので、夜間飛行など機種能力について、事前に連携し、災害時における役割分担をあらかじめ決めるなどしていければよいと考えております。

(市長) 事務局から何かございますか。

(事務局) 役割分担や運用の場面等について、相談させて頂きたいと考えております。

(市長)

つづきまして、西部総合県民局農林水産部長「國安様」何かご意見、ご質問はございませんか。

(徳島県西部総合県民局 農林水産部長 國安 寿昭 氏)

美馬市には、農業用ため池が多数ありまして、老朽化したものも多数あります。市とも相談しながら、改修を実施しているところです。改修するとしても、多額の費用を要しますので、一度に全てのため池を改修することは難しいところです。

市には、国の事業を活用し、老朽ため池のハザードマップを作成していただき、今後は、住民の方に、ハザードマップの周知をお願いしたいと考えております。

県としましては、令和4年度、ため池のハザードマップ周知のための看板を設置する事業を検討しておりまして、緊急性の高いため池において、モデル的に実施したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(市長) 貴重な御意見ありがとうございました。事務局から何かございますか。

(事務局) 防災の手引きの全面改定の中で、ため池についてもハザードマップを作成しております。デジタルハザードマップの中にも、ため池の部分を作成しておりまして、携帯電話等によりインターネットで見えるようにシステムを構築しているところです。これらを活用しながら、ため池の危険性についても周知していきたいと考えております。

(市長) つづきまして、美馬市社会福祉協議会会長「大垣様」、災害対策におけるボランティア等の受入れの観点から、何かご意見、ご質問はございませんか。

(美馬市社会福祉協議会会長 大垣 賢次郎 氏)

災害発生時には、市民への対策として、ボランティアの受入れは非常に大切になってくると思います。本計画においても、ボランティア活動支援拠点の整備ということで、社会福祉協議会の役割の明記をしていただきました。

ボランティアセンターの設置場所として、市の合同会館が位置付けされているところですが、設置・運営をした場合に、市内外からボランティアがお越しいただくため、車両等のアクセスの問題、駐車場の課題を危惧しています。

施設の周辺にございます、市役所の所有地や脇町高等学校のグラウンドなどの活用をする必要があり、アクセス道については、関係者の方にホームページ等を通じて周知をする必要があると考えております。

<p>(3)美馬市 水防計画 改定案に ついて</p>	<p>また、普及・啓発等につきまして、県社協と契約をしております、クラウドサービスの「キントーン」があります。事前にボランティアの登録ができるようになりますので、そういったシステムも活用してまいりたいと考えております。</p> <p>要配慮者への対応や支援についての意見は、少し細かい点がございますので、後ほど事務局に御案内させていただきます。</p> <p>(市長) 貴重な御意見ありがとうございます。合同会館へのアクセス道や駐車場の問題、普及・啓発などについて事務局から回答を御願います。</p> <p>(事務局) ボランティアの駐車場等については、私どもも課題と認識しております、今後、県、市、社協で協議をいたしまして、課題解決の方向性を見つけないかと思っております。キントーンというシステムについて、ご教授いただきましたので、計画の中に記載をしたいと思っております。</p> <p>(市長) 他の委員さんも、ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、審議事項2項目、「美馬市地域防災計画改定案」の承認に移ります。美馬市地域防災計画改定案について、頂いた意見を反映させた上で、パブリックコメントを求めるといことで、ご承認をいただくことに、ご異議ございませんか。</p> <p>「異議なし」の声を頂きましたので、「美馬市地域防災計画改定案」の議題について承認されました。</p> <p>(事務局) 中山防災対策監より「美馬市水防計画改定案」の概要について説明</p> <p>(市長) 事務局からの説明について、不明な点、質問はないか確認 それでは、美馬市消防団長 「武田様」、何かご意見、ご質問ございませんか。</p> <p>(美馬市消防団長 武田 一比古 氏) 消防団については、火災だけでなく、水防も兼ねて取組を行っている。本計画では、水防団を設置しないということですが、これまでの消防団の位置付けと異なると感じますが、事務局としてどう考えていますか。</p>
---	--

(市長) 事務局はどうですか。

(事務局) 美馬市の場合、水防団の位置づけを消防団が担っているという風に理解しております。水防法上の水防団の位置付けは、消防機関(消防団)の能力を超える場合には、水防団を設置するとされており、水防団の設置に関する条例は未制定であります。

本市の場合は、消防機関である消防団が水防作業等を行う能力が十分あると考えておりまして、実質的に、消防団が水防団として作業を担って頂いていると考えております。

(市長)

続きまして、美馬西部消防組合消防団長「東出 様」何かご意見、ご質問ございませんか。

(美馬西部消防組合消防団長 東出 忠 氏)

美馬西部消防組合も消防団が水防団の役割を担っており、訓練も実施しているところですが。増水した河川の監視、パトロールや土のう積みなどの水防工法だけでなく、避難誘導、救出救助、要配慮者の支援も実施します。

災害が発生すると、消防団が救出救助も実施するなど、非常に幅広い防災活動に就かなければなりません。消防団の訓練も、非常に幅広いため、消防団と水防団との境目が非常に難しいところです。

計画に記載するのは難しいかもしれないが、水防活動だけでなく、救出・救助など幅広い役割も持っているということをお伝えします。

(市長) 事務局はどうですか。

(事務局) 水防活動の中身につきましては、水防計画作成の手引きと県計画に整合がとれるように作成しております。たしかに、救出救助、要配慮者支援という消防団の活動の中に入るような活動までは記載していないため、どこまで計画に掲載するかということは、県計画や県と確認し、反映できるものは反映していきたいと考えています。

(市長) 続きまして、四国旅客鉄道株式会社 穴吹駅長 「中谷 様」何かご意見、ご質問ございませんか。

<p>連絡事項 令和4年度美馬市危機事態対処訓練実施予定</p>	<p>(四国旅客鉄道株式会社 穴吹駅長 中谷 茂 氏) 昨年のハザードマップ等については、御回答ありがとうございます。 付け加えてですが、QRコードや多言語表記などがあれば便利と思いますので、取り入れて頂きたいと思います。</p> <p>(市長) 事務局どうですか。</p> <p>(事務局) 多言語表記については、デジタルハザードマップについては、多言語表記(英語)となっております。しかし、紙のハザードマップや防災の手引きは、多言語対応はできておりませんが、QRコードを多く利用するなど、分かりやすいよう表記をしています。</p> <p>(市長) それでは、審議事項3項目、「美馬市水防計画改定案」の承認に移ります。美馬市水防計画改定案について、頂いた意見を反映させた上で、パブリックコメントを求めるということで、ご承認をいただくことに、ご異議ございませんか。</p> <p>「異議なし」の声を頂きましたので、「美馬市地域防災計画改定案」の議題について承認されました。</p> <p>これにて、本日の議事は全て終了しました。委員の皆様からは、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を賜り、審議事項全てをご承認いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの進行につきましては、事務局にお返しします。</p> <p>(事務局) 日程6、連絡事項につきまして事務局から説明させていただきます。 「令和4年度美馬市危機事態対処訓練実施予定」について説明</p> <p>(事務局) ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(委員から意見はなし)</p> <p>(事務局) 本日、ご承認いただきました業務予定に沿いまして、パブリックコメントを実施</p>
--------------------------------------	--

し、6月には市防災会議を再度開催させて頂きたいと存じますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

本日お越しの、四国電力送配電株式会社山下様より、LINEを活用した停電情報について、御説明をいただきます。

(山下委員から説明)

以上をもちまして令和3年度美馬市防災会議を終了いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、誠にありがとうございました。